



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

猛暑・コロナ禍での自然再生活動

7月17日（土）、晴天のもと一般参加者11名による自然再生活動を西目屋村鬼川辺国有林で行いました。新型コロナウイルスの脅威は依然続いており、予定募集人数20名のところ、約半数の人数としました。当日はマスク着用では作業が非常に厳しい炎天下ではありましたが、参加者のみなさんは吹き出す汗を拭いながら懸命に広葉樹稚樹（ブナ、ミズナラ、カエデ）を植えました。また、空からの森林の姿を知ってもらうため、ドローンによる自然再生箇所の状況を見てもらいました。子供さん以上に保護者の方々が大変興味を示していたようです。

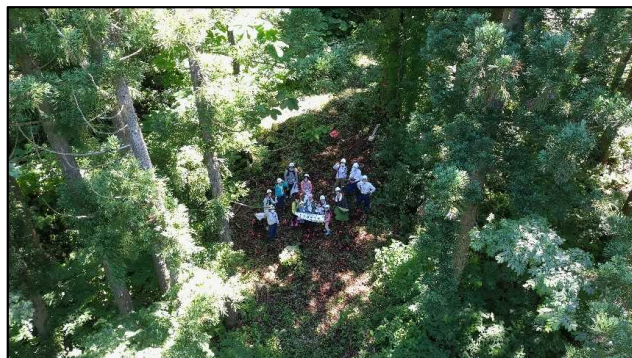
今回は参加者の約半数5名が児童（女の子）であり、熱中症を非常に心配しましたが、暑いのかなかへっちゃらという感じで終始元気に山を駆け回っていました。また、子供さんは大変好奇心が強く、作業中や散策中に質問が多く出され、主催者側としては大変やりがいがありました。

午前中の作業を終え、昼食をアクアグリーンビレッジ ANMON にて済ませた後、白神山世界遺産地域（緩衝地域）内のブナ林散策道へと向かいました。午後も子供さんは元気いっぱい、終始駆け出すのを止めるほどでした。1時間ほど散策した後、津軽ダムにて森林が育んだ大量の水を実感してもらいましたが、炎天下による気温の上昇が激しかったことから、急遽、白神山ビジターセンターに入場させていただき、クーラーの効いた涼しいロビーにて閉会式を行いました。暑い中作業されたお礼として、もっくんマスコットと子供さんには色えんぴつセットをプレゼントしました。帰りのバスの中でさっそく色えんぴつで絵を描いていました。

今回、子供さんが多数参加いただいたことは主催者側としては大変嬉しいことであり、世代をこえて白神山周辺での森林における自然再生活動が継続できればと思います。（小倉）



暑い中がんばりました。
即席の日傘（フキ）を掲げて



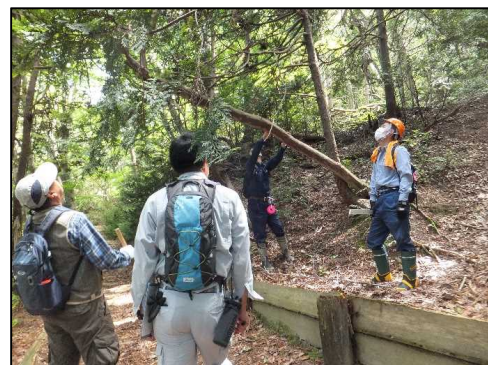
ドローンからの空中撮影

十二湖危険調査に参加しました

7月20日に、深浦町主催で十二湖において危険木調査が行われました。深浦町、青森県、津軽森林管理署、当センター、十二湖森の会が集まって4つのグループに分かれ、それぞれ決められたコースを歩いて調査しました。調査では、遊歩道の脇や頭上に、倒れたり落ちてくる可能性が高い木や枝が無いか見ました。

調査の結果、合計で40本の木（うち枝が9本）が危険木として見つかりました。これらの危険木は、今年度末に深浦町が処理する予定です。

皆さんも十二湖で散策を楽しむときは、景色や花を楽しみながらも時々周囲を見て危ないものや場所に注意するようお願い致します。（木村）

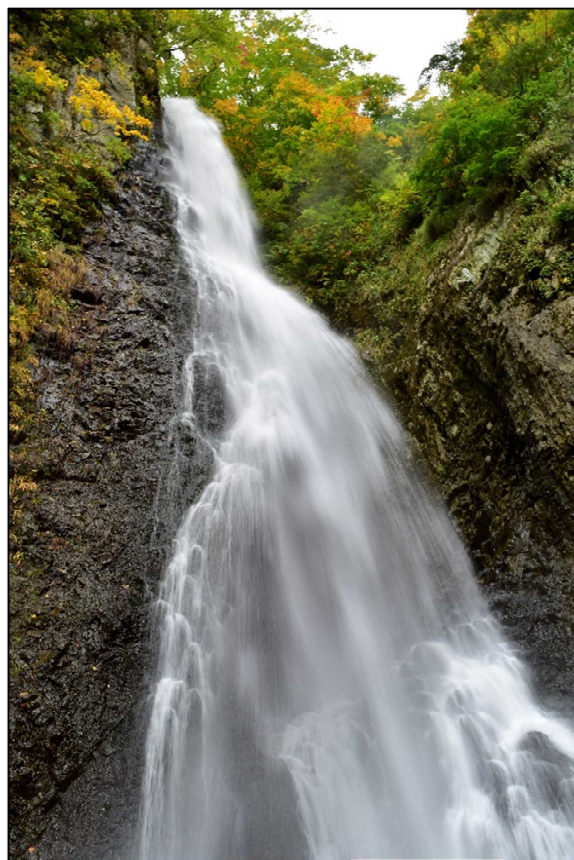


調査の様子
(グループ内で相談し合い、危険木かどうか判断します)

コラム：写真展の一枚

当センターの写真展にご来場されるのが困難な方向けに、写真展で展示してある一枚を解説と一緒にご紹介しています。

西目屋村にある、暗門溪谷の一番奥の滝です。暗門の滝は全部で3つあり、手前の方から、第3の滝、第2の滝、第1の滝という名前が付けられています。写真は第1の滝をほぼ真下から撮ったもので、10月に行ったので水がとても冷たかったのを覚えています。実は、一般のお客様は第2の滝までしか行くことはできません。第1の滝までの道のりが危険だということで立入禁止になっています。ですが2つのどちらの暗門の滝も近くで見ることができるので、音や大きさが凄まじく、その迫力に圧倒されます。



第一の滝 (木村)

=お知らせ=

9月11日（土）に開催予定の第2回自然再生活動についてお知らせします。

募集期間：8月23日（月）～9月3日（金）（平日8時30分～17時15分まで）

詳細につきましては8月末に発行予定の白神の絆8月号をご覧ください。8月中旬頃に掲載予定のホームページ、イベントページのチラシをご覧ください。